

## 塩原温泉郷に秋の訪れ 塩原温泉まつり

9月11日から12日にかけて開催された塩原温泉まつり。このまつりは、時を遡ること100年前の大正4年、塩原に御用邸があった大正天皇の即位の大礼が行われたことを祝い、人々が人形を乗せた山車を作って御用邸にかけつけたのが起源とされる。

101回目となる今年、6地区から丹精込めて作成された自慢の山車が繰り出し、軽快なお囃子を奏でながら温泉街を練り歩く。

情緒ある温泉街の、1年のうちでもっともにぎやかな2日間。塩原から巣立っていった若者たちも、まつりのために帰ってきて、懐かしい仲間たちとともに山車を引く。そこにはたくさんの笑顔があふれていた。



各地区から出発地点に集まった6台の山車。

## 塩原温泉古式湯まつり

温泉の恵みに感謝するとともに、さらなる繁栄を願って毎年開催されているまつりで、塩原温泉の発祥とされる元湯で汲んだ湯を、各地区に分湯していく。

今年は9月25日に開催され、古式ゆかしい衣装に身を包んだ行列が、厳かな雰囲気の中、静かに温泉街を進む。にぎやかな温泉まつりとはまた違った、幻想的なまつりだ。



夜になると山車の鮮やかさはさらに増していく。



山車の人形は手作り。まつりの準備は梅雨明けとともに始まる。



那須拓陽高等学校では、生徒が職場体験を通じて自分の将来について考えるため、インターンシップを毎年実施しています。今年市とハローワーク大田原が連携し、若者の雇用対策事業として事前にガイダンスを実施。市内の和牛農家で仕事をした秋元優花さん(2年)は、「家を継ぐために必要な経験をたくさんしたい」と話してくれました。

▼問い合わせ  
☎市商工観光課 ☎0287(62)7130

## 05 「社会に出る」とはどいうことか 高校生が職場体験



今年4月以降に1歳6カ月健診の対象となった幼児のいる世帯に対して、地元産の米20kg(子育て応援米)を2回に分けて贈る「はじめてのふるさとごはん事業」。この応援米の配送が9月から始まりました。今回応援米を受け取った及川賀代さんは、「娘の華(1歳)はご飯が大好き。家でご飯をたくさん食べるので助かります」と嬉しそうに話してくれました。

▼問い合わせ  
☎市農務畜産課 ☎0287(62)7147

## 04 地元のお米で子育て支援 「子育て応援米」の配送始まる

## 07 本庁舎の自動交付機が 10月末でなくなりす



本庁舎の自動交付機が10月31日に撤去されます。市民カード(印鑑登録証)で証明書を取得する場合は窓口を利用してください。なお、マイナンバーカード(利用者証明用電子証明書搭載のもの)を作成すれば、コンビニエンスストアで証明書を取得することができます。

◆10月8日(土)〜10日(祝)の3日間は、点検のため自動交付機が使用できません。

▼問い合わせ  
☎市民課 ☎0287(62)7132



## 06 全国高校総合文化祭(将棋部門)で 初優勝 市長特別賞を贈呈

広島県で開催された第40回全国高校総合文化祭。このイベントの将棋部門の男子団体戦で、文星芸大附属高校が栃木県勢として初優勝しました。このチームに主将として参加した同校2年の阪本駿さん(井口在住)に、市長特別賞が贈られました。阪本さんは「昨年敗れた相手に勝ち、優勝することができてうれしい。これからも研鑽をつみたい」と話してくれました。

▼問い合わせ  
☎秘書課 ☎0287(62)7108